

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」広島大町校		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 4日 ～ 2025年 12月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年 11月 4日 ～ 2025年 12月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様1名に対して指導員1名の個別支援を基本としております。 また、利用者様お一人おひとりに寄り添った個別支援計画を作成し、それに基づき支援を実施しております。	ご利用者様お一人おひとりと指導員との関係性を重視し、それぞれの利用者様に寄り添った支援を心がけております。 また、複数の指導員が関わることで、多様な視点から支援について検討しております。	様々なご利用者様のニーズに対応することができるように各指導員が研修への参加などを通じて自己研鑽を行ってまいります。
2	保護者様とのやりとりや関係性を大切にできるように支援後や、別途話し合う機会を多く設けております。	いつでも相談の窓口となれるよう、体制を整えております。 また、日々の利用者様の変化に対応できるよう、各担当指導員から保護者様への声かけを心がけております。	ご利用者様の幅広いサポートに応えるため、園との連携を推し進めてまいります。 日常において様々な視点からサポートができるように知見を広げてまいります。
3	多機能型事業所として就学後も継続して利用することが可能となっております。	保護者様・ご利用者様とも適宜話し合いを行い、どのような進路でも対応できるように心がけております。 保護者様・ご利用者様のニーズに応えることができるように事業所内でもしっかりと情報共有を行っております。	学校との連携もこれまで以上に強化できるように職員間で情報共有を行ってまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「クラ・ゼミ」広島大町校としての周知について不足している部分があります。	複数の園とのやりとりの中で知名度の低さを実感いたしました。 初めて来られる方から場所がわかりにくいとの声がありました。	関係機関や地域とは継続したやりとりを心がけて周知を続けてまいります。 またインターネットやSNSなどを活用してまいります。
2	様々なニーズに寄り添うための支援について知識など不足している部分があります。	初めてご利用される方などに対して説明不足や知識不足を実感することがありました。	日々研鑽に努めるために研修に参加して、職員間でしっかり情報共有を行いながら事業所全体として向上を目指してまいります。
3	バリアフリーや室温の問題など環境設備について不足している部分があります。	建物の構造上、玄関まで階段を上る必要があることや夏の暑さや冬の寒さについて不安の声がありました。	職員一同でサポートできる部分は積極的に行動してまいります。環境設備につきましては、必要な物を精査して快適な空間作りに努めてまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」広島大町校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

14

回収数

10

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1			入り口までの階段を上るのが大変	階段には手すりを設置しておりますが、必要に応じて職員がサポートいたします。ご希望の際は申し付けください。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9			1	外装のリフォームはあったが、内装はやや汚い	清潔な環境で過ごしていただけるように改善に努めてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	2	1	4	他者との交流を増やしてほしい	貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。イベントの企画など検討してまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	2	3	わからない	企画につきまして、保護者様からご意見をいただくことができるように努めてまいります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	2				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	2		3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1		1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8			2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10					
	29	事業所の支援に満足していますか。	10				・子どもが通所している間、休憩できる ・相談に乗っていただいたり、子どもの様子を伝えて対応してもらって満足です。	貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。今後もより良い支援ができるよう努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「クラ・ゼミ」広島大町校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		1人1時間の個別支援を3部屋に分けて通常の活動を行っております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		どの時間においても利用者様1名に対して職員を1名以上配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	支援スペースとなる部屋はフルフラットとなっており、部屋ごとに番号を振り分け、利用者様に分かりやすくしております。	事業所玄関までは階段を上る必要があるため、必要に応じて職員が補助に入らせていただいております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○	日々、清掃と消毒に取り組んでおります。活動に合わせてサイズの異なる机・椅子を用意しております。	事業所は2階に位置し、1階が吹き抜け構造のため、季節によっては室内環境の調整が難しい場合があります。床にマットレスを敷くなど対策を講じてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		3つの個室は、それぞれの利用者様にご利用いただけます。また、同室内でもパーテーションで区切ることが可能です。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		支援ごとに新しく得た情報や以前の振り返りなどを事業所内で行い、全ての職員が参加できるようにしております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に一度アンケートを実施しております。いただいたアンケートをもとに職員間で話し合いを実施して改善に努めております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に、管理者と職員が1対1で話し合い、さまざまな意見を聞く機会を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		同社内の別事業所職員による監査を年に数回実施しております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内にて法定研修、専門職による研修、一般社団法人発達支援研究所による事例研修が年に複数回、開催されております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		個別支援に則った支援プログラムを作成、公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者様と適宜話し合いを行い、得られた情報をもとに職員間で共有・会議を実施して、多角的な視点をもとに児童発達支援計画を作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		担当職員同士の意見を反映できるよう、会議を通じて協議を行っております。また、保護者様との面談時には、必要に応じて担当職員が同席し、共通理解を図るよう努めております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画作成の時に適宜事業所内会議をおこなひ、職員間で周知の上、作成したものをもとに支援を実施しております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		初回面談時に受付シート、計画作成時毎のアセスメントシートを用いて確認をしております。また支援毎に利用者様の状態や変化を確認して、事業所内共有、記録をしております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援という特徴を活かしてそれぞれのねらい及び支援内容についてアプローチをしております。また保護者様・利用者様・事業所の3つの視点から支援に内容を設定しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		複数の職員にて支援に携わり、様々な角度から意見を出し合い、プログラムの立案を行っております。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	支援毎の保護者様とのフィードバックや職員間での会議を踏まえて活動プログラムについて考えております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	個別支援を基本としておりますが、保護者様や利用者様、活動のニーズに合わせて対応できるように計画の作成、支援の実施を行っております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	適宜、情報共有を行い支援にのぞんでおります。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	利用者様の些細な変化や様子についても情報共有をおこない、また記録に残すように心がけております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	記録漏れがないように、適宜、チェックしております。記録を活用しながら支援の改善を図っております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	定期的にモニタリングを実施しております。期間中の支援や利用者様の様子を振り返りながら計画について振り返り、話し合いを行っております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児童発達支援管理責任者・担当職員が会議に参加しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	関係機関との連携については保護者様に周知のうえ、ケースに応じて話を行っております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	保護者様の希望に応じて連携を実施しております。実施の際は、積極的に情報共有をおこない、関係性を保てるように心がけております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	保護者様の希望に応じて連携を図っております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答)		地域の部会や担当者会議を通じて助言を聞く機会を得ています。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		事業所として交流の機会を提供できるように意見を出し合い、検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	支援毎に保護者様とフィードバックする時間を設けております。日々の様子について情報共有をおこない、共通理解に努めております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	保護者様とのやりとりの中で、疑問やご不安に思われている点等を踏まえ、職員間で協議を行っております。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時には、ご利用にあたっての不安や疑問点を軽減できるよう、説明を行っております。また、いつでもご確認いただけるよう、校舎玄関に掲示しております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	計画作成にあたっては、利用者様および保護者様のご意見を反映できるよう、それぞれご意見を頂戴する機会を設けており、必要に応じて三者での話し合いを実施しております。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		書面にて計画内容についてのご確認をいただき、同意の上で署名をいただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援毎のフィードバック時や家族支援時に保護者様からのお話を聞く時間を設けております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		現時点では、実施しておりません。 保護者様からのご要望に応じて、企画してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速に対応することができるように、職員の体制を整えております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		当社ホームページのブログ、InstagramなどのSNSを活用して、情報の発信を行っております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きのロッカーにて、情報漏洩が内容に保管しております。また職員間での意識向上にも努めております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		個別支援という特徴を活かして、利用者様・保護者様1人1人に寄り添いサポートできるように心がけております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		現時点では、実施しておりません。 ご要望に応じて、企画してまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		安全確保計画、BCP、防災訓練計画といった視点から毎年見直し、策定しております。適宜、訓練を実施して校舎内掲示、ホームページへの掲載を行っております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎年策定の見直しをおこなっております。適宜、訓練をおこない、意識の向上に努めております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		初回面談時には、利用者様の情報確認を必ず実施しております。また、適宜、状況に変化がないか聞き取りを行っております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事提供の機会がないが、アレルギーの有無については必要に応じて保護者様へ聞き取りを行っております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		作成した計画のもと、毎月のチェックを行っております。また社内研修にて知識向上に努めております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に、内容についてご説明させていただいております。また防災訓練と併せて校舎内掲示に努めてまいります。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		報告書を作成して、事業所内に関わらず、同社内校舎にも共有を行っております。それぞれの事業について適宜、話し合い再発防止に努めております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年に複数回社内研修を通じて、虐待防止に対する意識の向上に努めております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		初回の契約時に身体拘束に関わる説明を丁寧に行っております。また保護者様同意のうえ、契約書、個別支援計画に署名をいただいております。	